

令和 7 年度島本町自治会長連絡協議会

第 1 回地域代表者会議（報告）

【日時】 令和 7 年 5 月 2 1 日（水）午後 6 時 3 0 分～ 8 時

【場所】 役場 1 階 第 2 多目的室

<出席> 会長 外 9 名

<欠席> 2 名

・ 会長挨拶、各地域代表及び事務局自己紹介

【案件 1】 令和 7 年度の充て職について

事務局 事務局より町としての充て職の考え方、各課から提出された依頼文を基に説明。概ね例年どおりに委員選出が行われた。

【案件 2】 令和 7 年度の事業（講演会・意見交換会）について

事務局 全体会議で示したとおり、6 月 2 8 日に講演会と意見交換会の実施を予定している。実施方法としては、講演会の後、前年度と同様第 1 地域～第 4 地域に分かれて、講演会のテーマでの意見交換会を考えている。

地域代表 意見交換会は講演会のテーマに沿って進めた方がよいか。

事務局 講演会を受けて、町に落とし込んだときにどのように進められるかなどを話し合ってもらいたい。自治会内でのコミュニケーションや声かけをどう進めるかなど話し合ってみてはどうか。

地域代表 テーマに沿わない個人的な意見をおっしゃるかたがいた場合はどうすればよいか。

事務局 事務局側でもテーマから話が大きくずれるようであれば軌道修正は行う予定だが、「後ほど事務局に言ってください」と伝えてもらいたい。

地域代表 地域ごとに分かれて進めていくのか。講演会の後に Q A の時間はあるのか。

事務局 地域ごとにグループに分かれてもらう予定。講演会の後にも Q A の時間を設けるが、意見交換会の中で講師が各班に何うこととしているので、質問があれば仰っていただければと思う。

地域代表 意見交換会の開催通知に、「意見交換会に向けてテーマに基づく意見をまとめてきてほしい」と記載した方がいいのでは。また、昨年度の意見交換会の要記録を添付して送付すればいいのでは。

事務局 講演会の内容を踏まえて意見交換会を行うという趣旨の記載はする予定。要

点録は大変ボリュームがあるので抜粋して送るなど、方法を検討する。

地域代表 地域ごとの自治会数に差がある。1グループの人数をもう少し減らした方が、意見が活発に出るのではないか。第二地域・第三地域が多いのもう1グループつくるのはどうか。

事務局 事務局に人数の問題もあり、対応できるか検討する。

事務局 講演会のテーマを「非組合員に向けた自治会加入へのアプローチ方法」としているが、他に聞きたい内容はあるか。

地域代表 自治会長の経験が浅い人もいるので、講演会ではやさしいところから入ってから深いところへアプローチしてほしい。

地域代表 自治会内の半数以上が退会している状況。若い世代はSNSのつながりがあるから地域のつながりは不要、高齢者は役を背負えないと言っている。今時の自治会のあり方や立て直し方を知りたい。

事務局 自治会の意義を確認するところから、退会者や未加入者にどうアプローチしていくかを話してもらえるように講師のかたにお伝えする。

【案件3】その他

① 国勢調査について

地域代表 先日の全体会議でも申し上げたが、国勢調査は前回調査員を引き受けてくださったかたに打診をしてから自治会に依頼をするべきではないか。前は、地域内である程度調査員が決まった上で、決まらなかった分を自治会から選出してほしいという依頼があった。今回、調整もせずいきなり自治会に依頼をされたが、自治会は行政の下請けではない。

地域代表 調査用紙の記入方法を変えるべき。地図用紙に手書きで番号を振っていく作業は大変。スマホで入力できるようにするなど記入方法を簡単にすることができたのではないか。

地域代表 国勢調査に関する説明会が開催されていない中で、自治会内で調査員を選出してほしいと言われても、会員に説明が難しい。調査区域についても隣の社宅がなくなったのに地域が変わらないのはおかしい。事前に担当課からの調整があってもよかったのではないか。

地域代表 国勢調査は5年ごとに行われるものなので、本来であれば前年度の最後の地域代表者会議で担当課が出席して事前に説明を行うべきだった。次回からは全体会議でいきなり説明するのではなく、まず地域代表者会議で依頼方法を相談してもらいたい。調査方法についても効率化を図るべき。

事務局 担当課が自治会に依頼をする際に、政策企画課でも内容の確認を行うべきだったが、今回はその暇もなかったようである。本日いただいたご意見を改めて担当課に伝え、今後に向け改善を求めたい。調査員の業務をどれだけ効率化で

きるかは、国の調査であり、内容により担当課の裁量では対応できない可能性もあるので、その点をご理解いただきたい。

② 行政への意見や自治会同士の意見交換について

地域代表 新しい自治会の形ということと言うと、今までの自治会員を集めて自治会費を集めるというやり方は違うのかなと思う。自治会費が膨れ上がっているところもあれば、足りないところもある。毎月自治会費を集めるのではなく、イベントや行事があるときなど必要なときに集める方法も考えられるのでは。今までのやり方にがんじがらめになっている自治会に入会することへの拒否感もある。会費を取らない自治会の方が意外と続くのではないかとも思う。

事務局 令和6年度に自治会の認定要件基準を見直し、自治会費を徴収しなくても地域と行政とのつながりを継続する連携対象自治会という枠組みをつくった。自治会運営補助金の交付を受けるには、行政のルールとして自主財源の確保や決算の認定などが必要になる。

地域代表 自治会に入会する人が少ない理由は何だと考えるか。

地域代表 行事などを開催して人に集まってもらうことが大きいと考える。参加できない人はメリットがないから辞めるということになる。社会全体が個人主義になっている中で、人を集める努力が必要になってくる。

地域代表 マンション約300世帯のうち90%は自治会に入会している。夏まつりや餅つき大会を開催したり、年長者クラブが盛んなので自治会から補助を出したり、密接に関係を築いていることが辞めない理由のひとつだと考える。

地域代表 自治会の会長と副会長は固定にしているか。会長を固定している自治会の方が退会者は少ない印象がある。毎年役員を交代すると行事をやる際に毎度最初からになってしまい大変。

地域代表 会長は固定。他の役員は約2年で交代している。行事に関しては基本的にはボランティアを募り、役員はフォローに回っている。

地域代表 会長は1年交代。行事は開催していないが、退会率は低い。何もしていないけれど役員が回ってくるから退会するという人もいる。時代の流れで人との関わり方が変化しているため仕方がない部分もある。

地域代表 自治会があると、日中共働きなので子どもを地域が見守ってくれている安心感はある。有事のときに対応できるのは自治会のメリットだと思う。

以上